

資 料

# 横浜市立大学附属病院における周産期地域医療への取り組み —周産期医療に携わる医師の育成—

西 卷 滋<sup>1)</sup>, 榊 原 秀 也<sup>2)</sup>, 平 原 史 樹<sup>2)</sup>, 横 田 俊 平<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 横浜市立大学附属病院 小児科

<sup>2)</sup> 横浜市立大学附属病院 産婦人科

**要 旨:** 文部科学省による「周産期医療環境整備事業 (人材養成環境整備)」を受け, 平成21年から24年にかけて横浜市立大学附属病院では周産期地域医療の改善へ取り組んだ. その結果, ①院内で新生児蘇生法を習得した医療従事者は189名になり, 安全なお産の提供に寄与した. ②小児科で新生児医療を経験した若手小児科医60名を育成した. ③彼らの活躍で, 神奈川県内の三次レベル NICU からの転院受け入れ数が増え, それは地域周産期医療へ貢献した.

**Key words:** 新生児集中治療室 NICU, 母体搬送 (maternal transfer), 新生児搬送 (neonatal transfer), 新生児蘇生法 (neonatal cardiopulmonary resuscitation)